

- 問1 世界地図においてノルウェーなどの高緯度地域に見られる海岸線の特徴に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水や地下水によって溶かされ、独特のくぼ地や洞窟が形成されている。 2. 氷河の侵食によって削られた深い谷に海水が侵入し、細長く奥行きのある湾が形成されている。 3. 河川によって運ばれた土砂が河口付近に堆積し、平坦な地形が形成されている。 4. サンゴ礁の発達によって海岸線が取り囲まれ、波の静かな浅い海が広がっている。
- 問2 イタリアなどの南欧諸国において、人口の約8割から9割という圧倒的多数を占めているキリスト教の宗派として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. 正教会 2. イスラム教 3. プロテスタント 4. カトリック
- 問3 EU (ヨーロッパ連合) の拡大に伴い、ポーランドなどの国々からドイツやフランスといった国々へ向かう人の流れが活発になりました。このような労働移動を可能にしているEUの基本的な仕組みはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 加盟国すべての公用語を一つに統合する言語政策 2. 域内における人、物、資本、サービスの移動の自由 3. 域外からの輸入品に対して一律に高い関税を課す制度 4. すべての加盟国が同じ時期に大統領を選出する政治制度
- 問4 北欧に位置するノルウェーでは、国内の総発電量の約9割以上を特定の再生可能エネルギーでまかなっています。この国で最も主要な発電方式はどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 水力発電 2. 原子力発電 3. 火力発電 4. 風力発電
- 問5 ヨーロッパやロシアなどの地域で広く見られる、小麦やライ麦、ジャガイモといった穀物や飼料作物の栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を組み合わせて行われる農業形態を何といいますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 混合農業 2. 酪農 3. 地中海式農業 4. ブランテーション
- 問6 ヨーロッパの多くの国々の間では、国境を越えて移動する際の手続きを簡略化する協定が結ばれています。この協定に基づき、人々の円滑な移動を実現するために廃止された具体的な行為はどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 域外から輸入される工業製品への関税 2. 国ごとに異なる独自の通貨の使用 3. インターネットによる情報のやり取りの制限 4. 国境におけるパスポートの検査
- 問7 欧州連合 (EU) が加盟国間の経済的格差を是正し、地域全体のバランスの取れた発展を図るために実施している仕組みとして、正しいものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. イギリスが離脱した2020年以降、東ヨーロッパへの経済的支援を廃止し、各国独自の関税制度を復活させた。 2. 経済的格差のある国同士の貿易を制限し、西ヨーロッパ諸国のみで共通通貨ユーロを使用している。 3. 加盟国からの拠出金を財源とした補助金を、経済発展が遅れている地域に配分している。 4. すべての加盟国の物価と賃金を強制的に一律にするため、共通の価格管理制度を導入している。
- 問8 ヨーロッパで発達した「混合農業」が、穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせで行っている主な理由として、仕組みの観点から正しいものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 山岳地帯の急斜面を効率的に利用するために、家畜を移動させる必要があるため。 2. 家畜の糞を肥料として利用して土地の肥沃さを保ちつつ、飼料用穀物も自給するため。 3. 農作物が凶作の際、家畜を野生に戻すことで食料不足のリスクを回避するため。 4. 夏の強い乾燥から作物を守るために、家畜に水を運ばせる必要があるため。
- 問9 北ヨーロッパのスカンジナビア半島沿岸に見られる、非常に複雑に入り組んだ海岸線を持つ「フィヨルド」の成り立ちについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 河川による侵食で形成されたV字型の谷が、地盤の沈降によって海に沈んで形成された。 2. 氷河によって削られたU字型の深い谷に、海水が深く入り込んで形成された。 3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、長い年月をかけて陸地が海へ突き出して形成された。 4. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が入り込んで形成された。
- 問10 EU (欧州連合) 域内における「経済格差」がもたらしている状況や、それに関連する動きについて述べた記述として正しいものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 国民総所得の低い国々の経済を底上げするため、EUは域外の特定の国に対してのみ、例外的に高い関税をかけることを禁止している。 2. 加盟国間の経済格差をなくすために、EU域内を移動する労働者に対しては、国をまたぐごとに高額な移動税を課している。 3. 賃金水準の低い東ヨーロッパの国々から、より高い賃金を求めて西ヨーロッパの国々へ労働者が移動する現象が見られる。 4. 経済発展が遅れている東ヨーロッパの国々を保護するため、EU域内では国ごとに農産物や工業製品への関税が維持されている。
- 問11 1990年から2020年にかけての主要国のエネルギー供給の変遷について、イギリスでは2010年から2020年の10年間で、発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が4倍以上に急増しました。このようにイギリスで再生可能エネルギーの導入が急速に進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 2020年までに石油による火力発電の割合を2010年比で倍増させるといふエネルギー政策を打ち出したため 2. 二酸化炭素を排出しない原子力発電を、2020年時点で国内の全発電量の8割以上にすることを達成したため 3. 国内に広大な砂漠気候の地域を有しているため、大規模な太陽光発電パネルの設置を優先したため 4. 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため
- 問12 イタリアのローマなどの地中海沿岸地域では、温帯の中でも、夏の降水量が極端に少なく乾燥し、冬に降水量が多くなるという特殊な気候が見られます。この気候の特徴に適応するために行われている農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬の降水量が多いため、その水分を蓄えて夏に利用する大規模な稲作が平野部で発達している。 2. 一年を通して降水量が一定であるため、牧草を育てて乳牛を飼育する酪農が盛んに行われている。 3. 夏の強い日差しと乾燥に耐えられる、皮の厚いオリーブやオレンジなどの樹木作物を栽培している。 4. 夏の乾燥を利用して、広大な土地で大量の小麦を春に種まきして秋に収穫する農業を行っている。
- 問13 2010年から2018年にかけての各国の再生可能エネルギーの割合の変化を示したデータにおいて、中国 (約18.8%から26.2%) やインド (約16.4%から19.0%) に比べて、より顕著な増加を示し、2018年時点で総発電量の3分の1以上を再生可能エネルギーが占めるようになった国の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. ドイツとインド 2. イギリスとドイツ 3. 中国とインド 4. イギリスと中国